



# 言葉の意味

〈福岡県〉 武本東子<sup>たけもと とうこ</sup> 44歳

私は洗髪のために、50歳の女性Aさんの元へ向かった。Aさんは四肢萎縮の状態で、日常生活援助が必要な方だった。Aさんの髪は肩を10センチメートルほど過ぎる長さ。

私は髪の手で触り「フワツとしていますね」とAさんに笑顔で話しかけた。洗髪が終わりタオルで巻いた髪を鏡で見ながらAさんは「今日の午後、髪を切るんですよ」と言われた。

私が「あら？ どれくらい切るんですか」と聞くと、Aさんは「短くなるのかな」と返答された。私は無意識に「何で髪を毛を切ろうと思われたんですか？」と聞きながら、Aさんの髪をタオルで拭いていた。Aさんは「看護師さんに迷惑が掛かる

から」と言われ、私は手を止めた。続けてAさんは、「髪が抜けてベッドや枕に付くし、ボサボサの髪は自分ではどうしようもできないでしょう。だから、切った方が看護師さんの迷惑にならないと思うの。でも、私、髪を短くしたことがないから」と話された。

看護師に迷惑が掛かるという理由で、経験のない長さに髪を切ろうとしているAさんに私は申し訳ない気持ちでいっぱいになった。私はAさんに再度髪を毛を切る理由を復唱すると、うなずかれた。「Aさん、私は申し訳ない気持ちでいっぱいです。気分転換のために髪を切るなら止めませんが、看護師へ迷惑が掛かるとの気持ちで髪を切るのなら

ば、中止してください。私たちがAさんの気持ちに気付かずすみませんでした」と伝えた。

しばらく無言だったAさんは「いいんですか？ このままで？」ご迷惑を掛けますよと言われた。私は「大丈夫です。カットのキャンセルをしましょう」と言った。Aさんと私は、満面の笑顔になれた。後日、娘さんが「母の髪を切らないようにしていただき、ありがとうございまして。母の面影が変わるのが嫌でした」と話されていたと知った。患者さんの一言には深い意味が込められていることに気付かされた。気付ける看護師でありたいとも思った。今もその思いは変わりません。

